



2年ぶり3回目

優勝

女子個人 3等陸曹
島津玲奈

大会2日目の28日には女子の3種目が行われた。

島津玲奈3等陸曹は水泳を3位、フェンシングを2位で終えると総合1位で馬術競技に挑んだ。馬術競技でも落ち着いた乗馬で見事 300 点満点を獲得し、1位で翌日のレーザーランに繋げた。トップでスタートを切った島津3曹と2位スタートの選手とのスタートタイム差は14秒と大きくはなかったが、日本のトップを牽引し続けて来たベテランはスタート直後から圧倒的な強さを見せ、他の選手に一切の追従を許さず、2位の選手に1分近くの差をつけてゴール。完全勝利で2年ぶり3度目の優勝を飾った。

フェンシングの試合中から後輩たちに気を配り、やる気を鼓舞し続けた女王は自身のゴール後も次々とゴールしてくる所属選手たちに労いの言葉を掛け、先輩としての強さと優しさも見せた。

完全勝利



馬術を満点で終え笑顔の島津3曹

ベテランの意地で魅せた



1分のタイム差を覆す室塚3尉

室塚詩乃3等陸尉は水泳を12位、フェンシングを3位、総合4位で馬術競技に挑んだが障害減点を受け3種目終了時点で5位と順位を落とし、レーザーランを迎えた。トップの島津3曹から1分14秒後、2位の選手から1分後にスタートを切った室塚3尉は驚異的な追い上げをみせた。正確な射撃と持ち前の走力で若手選手を圧倒。女子の出場選手のなかで最年長のベテランが意地をみせ、見事第2位でゴールした。

順位の変動が目まぐるしく大混戦となった女子のレーザーラン競技は、ベテランの2人が後輩選手たちにしっかりとその強さを見せつけ、幕を閉じた。

島津3曹は「このコロナの大変なかで全日本選手権を開催して頂いたことにも感謝しています。オリンピックが延期になりモチベーションを保つことがとても難しかったのですが、その中で最後の出場だと決めていた全日本選手権で優勝できたことは、これからの東京オリンピックの枠をかけた戦いの糧になると思います。応援ありがとうございました。」と試合後に話し、これから行われる国際大会への意欲を示した。

総合成績 (メダリスト)

	順位	階級	氏名	総合得点	出身
男子個人	優勝	2等陸曹	嶋野 光	1474点	神奈川県
	第2位	3等海曹	佐藤大宗	1463点	青森県
	第3位	3等陸曹	大西渚生	1461点	宮崎県
女子個人	優勝	3等陸曹	島津玲奈	1400点	熊本県
	第2位	3等陸尉	室塚詩乃	1344点	高知県

男子団体	
優勝	自衛隊体育学校 A
2等陸尉	三口智也
2等陸曹	嶋野 光
3等海曹	佐藤大宗
第2位	自衛隊体育学校 B
3等海曹	桑原慶斗
3等陸曹	大西渚生
3等陸曹	藤巻啓太郎

